

サイボウズ® デヂエ®

サイボウズ デヂエ 5.0

ライブラリ利用ガイド

2004年10月15日 初版発行

発行 サイボウズ株式会社 ナレッジ事業推進部



目次

デジエの画面構成	>4-9
ホーム画面	>>4
レコード一覧画面	>>7
カレンダー表示画面	>>9
登録したい	>10-15
新規に登録する	>>11
再利用して登録する	>>14
メールを読み込んで登録する	>>15
編集したい	>16-18
編集する	>>16
カレンダー表示から編集する	>>17
閲覧したい	>19-19
閲覧する	>>19
並べ替えたい	>20-20
ソートする	>>20
検索したい	>20-31
簡易検索する	>>22
詳細検索する	>>23
絞り込みする	>>28
ライブラリ検索する	>>29
有効な検索演算子	>>31
見せ方を変えたい	>32-35
レコード一覧ビューを利用する	>>32
リンクリストの表示	>>33
フィールドレイアウトを利用する	>>35
印刷をしたい	>36-36
レコードを印刷する	>>36
関連付いたライブラリのデータを取得したい	>38-41
ルックアップでレコードを登録する	>>38
再ルックアップの実行	>>39
集計したい	>42-44
集計する	>>42
文字を置換したい	>45-47
置換する	>>45



レコードをコピーしたい	>48-50
外部ファイルに出力したい	>51-52
CSV ファイルへの書き出し	>>51
削除したい	>53-55
レコードの削除	>>53
レコードの一括削除	>>54
フォルダの削除	>>55
個人の設定をしたい	>56-58
パスワードの変更	>>57
表示の設定	>>57
My リンクの設定	>>58
ログイン・ログアウトしたい	>59-60
ログイン	>>59
ログアウト	>>59

デジエの画面構成

デジエのホーム画面、レコード一覧画面の画面構成をご案内します。












ホーム画面




【インストール直後のホーム画面】



1.	ヘッダ		クリックするとホーム画面に戻ります。 レコード一覧画面 のロゴとリンク先は、カスタマイズの ヘッダ・フッタの設定 で自由に変更することができます（ホーム画面では変更できません）。
			クリックするとホーム画面に戻ります。
			デジエに ログイン / ログアウト します。ログイン後は が表示されます。
			「お客様サポートオンライン」へのお問い合わせをします。 サポート登録者 のみに表示されます。
			バージョン情報、製品に関するご案内のページへのリンクを表示します。
レコード一覧画面では、カスタマイズの ヘッダ・フッタの設定 によって、アイコンがテキスト表示されたり、表示されないアイコンがあります。			



2.	フォルダ 一覧	作成されたフォルダ一覧が表示されます。	
			クリックすると、フォルダ内に格納されているフォルダを表示します。
			フォルダ一覧のフォルダ内すべてのフォルダを Tree 構造で表示します。 を押す  とルートフォルダ配下のフォルダのみの表示になります。
	リンク リスト	デジエ にログインすると、 リンクリスト の表示に切り替えるタブが表示されます。 ホーム画面のリンクリストでは My リンク のみが表示されます。(以下【 My リンク表示例 】を参照)	
3.	ライブラリ 一覧		テンプレートフォルダを表します。クリックすると、フォルダ内に格納されているテンプレートファイルを参照できます。(ライブラリ作成権のないユーザーには表示されません)
			フォルダを表します。クリックすると、フォルダ内に格納されているフォルダ および ライブラリを参照できます。
			ライブラリを表します。クリックすると、 レコード一覧画面 に遷移します。
			フォルダを追加 します。
			ライブラリを追加 します。
			設定したフォルダのメモを表示します。クリックすると フォルダのメモの設定 ができます。
			フォルダ情報の変更 ができます。
			ライブラリ一覧に表示される フォルダ、ライブラリの順番の変更 を行います。
4.	ライブラリ 検索	デジエ 内のライブラリに対して、「ライブラリ名」「ライブラリメモ」をキーにして ライブラリ検索 をすることができます。検索対象のフォルダを検索したい、あるいは「レコード値」を対象にして検索したい場合は、 [詳細検索] を利用します。	

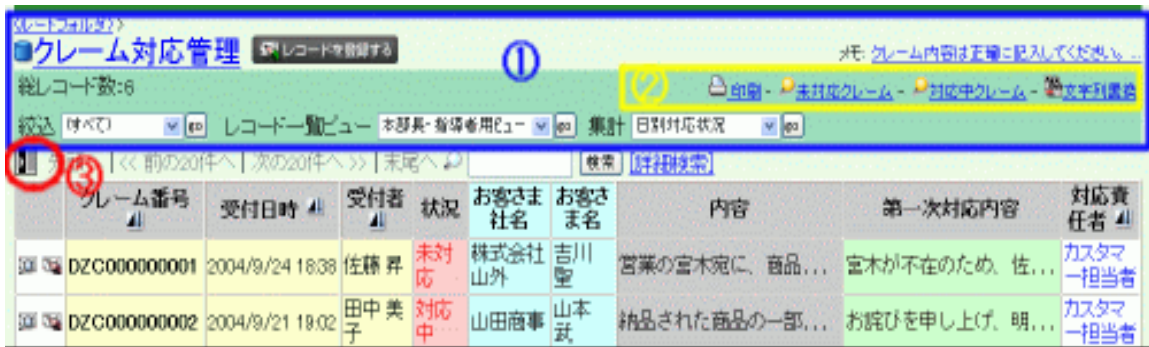
5.	フッタ		システム設定メニューを表示します。 システム管理者 としてログインした場合にのみ、表示されます。
			自分だけの設定を行います。デジエ にログインした場合のみ、表示されます。
		レコード一覧画面では、カスタマイズの ヘッダ・フッタの設定 によってアイコンがテキストで表示される場合があります。	
		レコード一覧画面では、 ライブラリ管理者 には  が表示されます。	

【 My リンク表示例 】




レコード一覧画面

【 ライブラリ追加、直後のレコード一覧画面 】



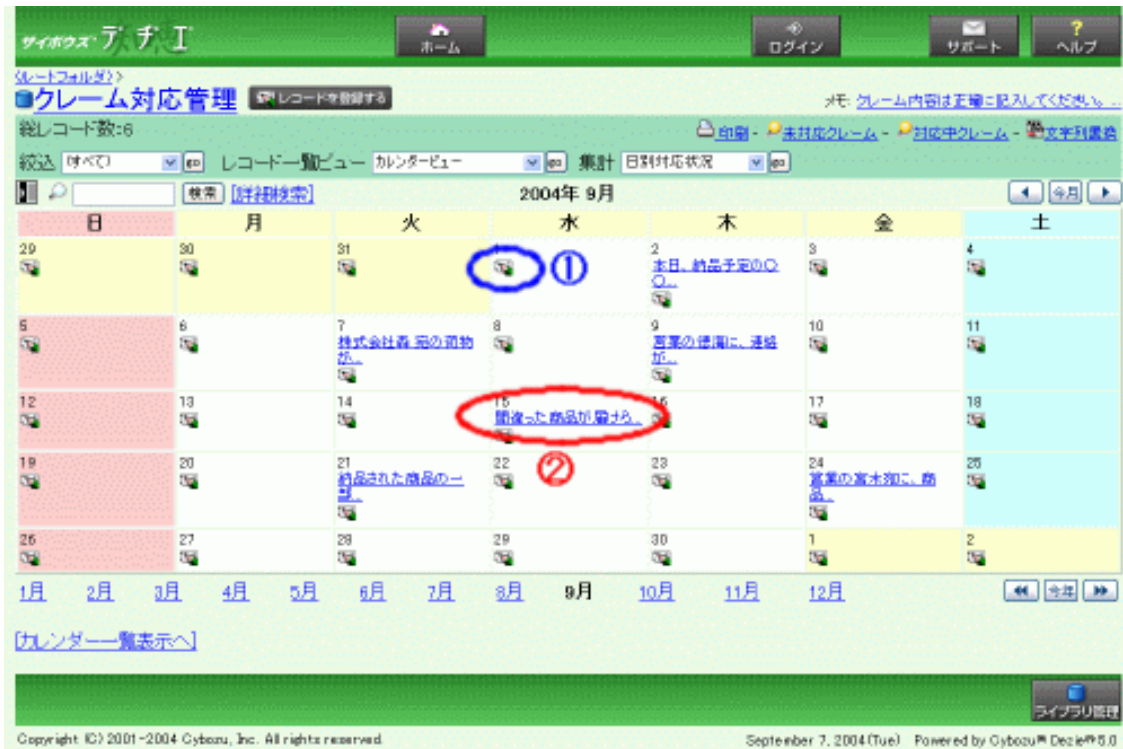
1.	メニュー	ナビ	ライブラリの格納場所を指します。(ルートフォルダ) をクリックすると、ホーム画面 に遷移し、フォルダ名をクリックするとフォルダに遷移します。
			ライブラリ名をクリックするとレコード一覧画面に戻ります。
		レコードを登録する	ライブラリに レコードを登録 します。
		メモ	設定されているメモを表示します。クリックすると メモの設定 ができます。
		絞込	よく使う検索条件を登録した 絞り込みを選択 できます。
		レコード一覧ビュー	表示させるフィールドの種類、文字の色などの書式設定等が登録された、 レコード一覧ビューを選択 できます。
2.	ツールメニュー		ライブラリ内のレコードを印刷します。
		高度な機能	CSV 書き出し 、 文字列置換 、 レコード一括削除 、 再リンクアップ 、 XML 書き出し 、 レコードコピー の実行画面へのリンクです。
		ダイレクト表示	カスタマイズのメニューの設定で ダイレクト表示 を登録した場合は、ツールメニューに が付いて表示されます。
		カスタマイズの メニューの設定 によって、表示されるツールが異なります。	






3.	リンクリスト		<p>リンクリストが表示されます。リンクリストには関連リンクとMy リンクを設定することができます。</p> <p>リンクリストの表示は cookie に保存されるため、ライブラリを表示した時、前回のリンクリストの状態が引き継がれて表示されます。</p>
----	--------	---	---

カレンダー表示画面

【 カレンダー表示画面 】



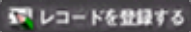

1.	レコード登録		<p>ライブラリに レコードを登録 します。</p> <p>カレンダー表示画面では、カレンダー日付上の  を押すことで、レコードを登録することができます。</p> <p>なお、  を押した 日付が登録画面に初期値として、入力されています。</p> <p>フィールドの設定にて、「初期値を現在日時にする」設定にしている場合は、現在日付が初期値になります。</p> <p>ただし、キーフィールドが登録日時、更新日時の際は初期値は設定されません。</p>
2.	レコード閲覧	見出し	<p>カレンダー表示にて、[見出し] をクリックすると、そのフィールドを 閲覧 できます。</p>



登録したい

レコードは、以下の 5 つの方法で登録できます。

➤ 新規に登録する

 アイコン、カレンダー表示画面の  アイコンから新規にレコードを登録します。

➤ 再利用して登録する

既存のレコードの値をコピーして、新規にレコードを登録できます。フィールド値にほとんど変化が無い場合などに利用すると便利です。

➤ CSV ファイルから読み込んで登録する

既存のライブラリに、CSV ファイルから一度に大量のレコードデータを追加・上書きすることができます。操作はライブラリ管理者のみが行えます。CSV ファイルの読み込み方法については、ライブラリ構築・管理ガイドの「外部ファイルへ入出力したい」を参照してください。

➤ メールを送信して登録する

ライブラリで設定されたメールサーバーのユーザーアカウントにメールを送信することで、レコードを登録することができます。

ただし、メール読み込みの設定、メールサーバーで受信したメールを読み込む操作はライブラリ管理者のみが行えます。メール読み込みの設定・実行方法についてはライブラリ構築・管理ガイドの「メールからレコードを登録したい」を参照してください。

➤ レコードコピーで登録する

他のライブラリからレコードをコピーして、既存のライブラリにレコードを登録することができます。レコードコピーの設定は、ライブラリ管理者のみが行えます。

ライブラリ構築・管理ガイドの「他ライブラリにレコードをコピーしたい」を参照してください。

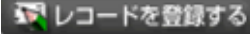

! レコードの登録は、ライブラリへのアクセス権の設定で、追加権限が与えられているユーザーのみ行えます。

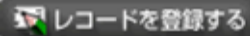

! 再利用しないフィールドとして設定されている場合は、再利用して登録することはできません。

レコード番号・登録日時・登録者、また、自動採番、自動計算、時間計算、自動ルックアップフィールドの値は自動的に登録されます。





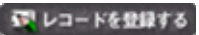
新規に登録する

▶新規にレコードに登録する方法

レコードを新規に登録する方法には、 から登録する方法と、カレンダー表示画面の  から登録する方法があります。


- ・  から登録する 一般的な新規レコードの登録方法
(11 ページ)
- ・ カレンダー表示画面の  から登録する カレンダー表示画面からのレコード登録方法
(12 ページ)

レコードを から登録する

0. ホーム画面  に、レコードを追加したいライブラリ ( [[ライブラリ名](#)]) を表示する
ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、フォルダを表示させ、画面上にある  を押すと便利です。
2. ライブラリ ( [[ライブラリ名](#)]) をクリックする
レコード一覧画面が表示されます。
3.  を押す
「レコードに登録する」画面が表示されます。
4. 各フィールドを入力する
「 * 」は必須フィールドです。必ず入力してください。
「 # 」は数値フィールドです。半角数値を入力してください。

デフォルトビューに設定されたフィールドレイアウトが表示されます。右上部のプルダウンメニューから、フィールドレイアウトを切り替えることもできます。
手動ルックアップが設定されている場合は、フィールド入力欄の右横にルックアップボタンが表示されます。ルックアップボタンを押すと、設定されたフィールドに




値が自動的に入力されます。



フィールドによっては入力制限がある場合があります。フィールド名左にある  にポイントして、コメントを参照してください。





！ 各フィールド値の入力はそのフィールドに対する編集アクセス権限のあるユーザーのみが行えます。


5. **登録する** を押す
レコード閲覧画面が表示されます。

カレンダー表示画面から登録する

- ▶ カレンダー表示画面では  **レコードを登録する** からだけでなく、カレンダー日付上の  からレコードを登録する方法があります。
以下手順にて、 からレコードを登録する方法を案内します。

 **レコードを登録する** からの登録は、上記の「**レコードを**  **レコードを登録する** から**登録する**」をご覧ください。

1. ホーム画面  に、レコードを追加したいライブラリ ( [[ライブラリ名](#)]) を表示する
ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、フォルダを表示させ、画面上にある **開く** を押すと便利です。
2. ライブラリ ( [[ライブラリ名](#)]) をクリックする
レコード一覧画面が表示されます。
3. カレンダー表示画面を表示させ、カレンダーの任意の日付欄の  を押す
！ この操作はカレンダー表示画面からのみ行うことができます。 カレンダー表示画面の表示方法は 33 ページ をご覧ください。
「 **レコードを登録する** 」画面が表示されます。

 をクリックした日の日付はレコードにあらかじめ登録されています。



4. 各フィールドを入力する

「 * 」は必須フィールドです。必ず入力してください。

「 # 」は数値フィールドです。半角数値を入力してください。

デフォルトビューに設定されたフィールドレイアウトが表示されます。右上部のプルダウンメニューから、フィールドレイアウトを切り替えることもできます。

手動ルックアップが設定されている場合は、フィールド入力欄の右横にルックアップボタンが表示されます。ルックアップボタンを押すと、設定されたフィールドに値が自動的に入力されます。

フィールドによっては入力制限がある場合があります。フィールド名左にある👉にポイントして、コメントを参照してください。






！ 各フィールド値の入力はそのフィールドに対する編集アクセス権限のあるユーザーのみが行えます。

5. **登録する** を押す

レコード閲覧画面が表示されます。


再利用して登録する

！ フィールドの設定で、「再利用しない」のチェックを入れている場合は、再利用して登録してもそのフィールドの値は登録されません。初期値はすべてのフィールドが再利用できるようになっています。

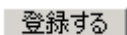
1. ホーム画面 に、レコードを追加したいライブラリ ( [[ライブラリ名](#)]) を表示する
ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、フォルダを表示させ、画面上にある  を押すと便利です。
2. ライブラリ ( [[ライブラリ名](#)]) をクリックする
レコード一覧画面が表示されます。
3. 再利用したいレコードの [[閲覧](#)]  をクリックする
「レコードを登録する」画面が表示されます。
4.  [[再利用して登録する](#)] をクリックする
「レコードを登録する (再利用)」画面が表示されます。
5. 変更したいフィールドを入力し直す
「 * 」 は必須フィールドです。必ず入力してください。
「 # 」 は数値フィールドです。半角数値を入力してください。

デフォルトビューに設定されたフィールドレイアウトが表示されます。右上部のプルダウンメニューから、フィールドレイアウトを切り替えることもできます。

手動ルックアップが設定されている場合は、フィールド入力欄の右横にルックアップボタンが表示されます。ルックアップボタンを押すと、設定されたフィールドに値が自動的に入力されます。

フィールドによっては入力制限がある場合があります。フィールド名左にある  にポイントして、コメントを参照してください。

！ 各フィールド値の入力はそのフィールドに対する編集アクセス権限のあるユーザーのみが行えます。

6.  を押す
レコード閲覧画面が表示されます。

メールを読み込んで登録する

- ! あらかじめ、ライブラリにメール読み込みの設定がされている必要があります。設定については、ライブラリ管理者のみ行うことが可能です。
- ! メールサーバーで受信したメールをライブラリに読み込む操作もライブラリ管理者のみ可能です。

- メール読み込みの設定により、メールのデータを以下の項目に分け、それぞれ指定したフィールドに読み込むことができます。

「 差出人 」 「 件名 」 「 送信日時 」 「 メールヘッダ 」 「 本文 」 「 添付ファイル 」 「 メールソース 」

読み込むメールデータとフィールド名との組み合わせは、メール読み込みの設定によって変わってきます。詳細はライブラリ管理者にお問い合わせください。

1. ライブラリで設定されたメールアドレスにメールを送信します。
2. ライブラリ管理者がメールサーバーで受信したメールを読み込むと、受信したメールの内容がレコードに登録されます。



編集したい








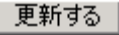
レコードの編集には、以下の二種類の方法があります。

- ・レコードを編集する（16 ページ）
- ・カレンダー表示からレコードを編集する（17 ページ）







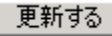
カレンダー表示画面からのレコード編集は、一般的なレコード編集とは手順が異なります。

！ レコードの編集は、ライブラリの編集権限のあるユーザーのみ行えます。

レコードを編集する

1. ホーム画面  に、レコードを編集したいライブラリ（  [[ライブラリ名](#)] ）を表示する
ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、フォルダを表示させ、画面上にある  を押すと便利です。
2. ライブラリ（  [[ライブラリ名](#)] ）をクリックする
レコード一覧が表示されます。
3. 編集したいレコードの [[編集](#)]  をクリックする
「レコードの編集」画面が表示されます。
ライブラリの編集権限がない場合は、[[編集](#)]  は表示されません。
4. 編集したい箇所を変更する
「 * 」は必須フィールドです。必ず入力してください。
「 # 」は数値フィールドです。半角数値を入力してください。
デフォルトに指定されているフィールドレイアウトが表示されます。右上のプルダウンメニューで、フィールドレイアウトを切り替えることもできます。
フィールドによっては入力制限がある場合があります。各フィールドにある  にポイントし、コメントを参照してください。
各フィールド値の入力は、そのフィールドに対する編集権限のあるユーザーのみが行えます。
5.  を押す
レコード閲覧画面が表示されます。
更新日時、更新者は自動的に記録されます。

カレンダー表示から編集する

1. ホーム画面  に、レコードの編集をしたいライブラリ ( [[ライブラリ名](#)]) を表示する
ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、フォルダを表示させ、画面上にある  を押すと便利です。
2. ライブラリ ( [[ライブラリ名](#)]) をクリックする
レコード一覧が表示されます。
3. カレンダー表示画面を表示する
! この操作はカレンダー表示画面からのみ行うことができます。 カレンダー表示画面の表示方法は 33 ページ をご覧ください。
4. カレンダー日付上の見出しをクリックする
レコード閲覧画面が表示されます。
5. レコード閲覧画面より、  [[編集する](#)] をクリックする
「レコードの編集」画面が表示されます。
6. 編集したい箇所を変更する
* は必須フィールドです。必ず入力してください。
は数値フィールドです。半角数値を入力してください。
デフォルトに指定されているフィールドレイアウトが表示されます。右上のプルダウンメニューで、フィールドレイアウトを切り替えることもできます。
フィールドによっては入力制限がある場合があります。各フィールドにある  にポイントし、コメントを参照してください。
各フィールド値の入力は、そのフィールドに対する編集権限のあるユーザーのみが行えます。
7.  を押す
レコード閲覧画面が表示されます。
更新日時、更新者は自動的に記録されます。









<p>ONE POINT</p>	<p>レコードデータの編集を開始すると、そのレコードは他のユーザーによって同時編集できないロック状態になります。 更新する キャンセルする を押すとロックが解除されます。</p> <p>編集画面から他の画面へ移動するときには 更新する および キャンセルする を押してロックを解除してください。</p> <p>ロック時間はライブラリ毎に設定されており、初期値は 5 分間です。 ロック時間の変更方法、詳細はライブラリ構築・管理ガイドの「レコードロックの時間を変更したい」を参照してください。</p>
-------------------------	---

<p>ONE POINT</p>	<p>一度に複数のレコードを編集する必要がある場合は、CSV ファイルに書き出して表計算ソフト上で編集し、再度読み込む方法もあります。レコード番号を一緒に書き出せば、既存のレコードに上書きして読み込めます。</p> <p>本件の詳細は デヂエ ホームページの FAQ を参照してください。 (http://cbdb.cybozu.co.jp/cqi-bin/db.cgi?page=DBRecord&did=52&qid=&vid=1025&rid=50)</p> <p>CSV ファイルの書き出し、読み込みについては ライブラリ管理・構築ガイドの「外部ファイルへ入出力したい」を参照してください。</p>
-------------------------	---

閲覧したい

ライブラリの閲覧は、ライブラリに対する閲覧権限のあるユーザーのみ行えます。

閲覧する

1. ホーム画面  に、レコードを閲覧したいライブラリ ( [[ライブラリ名](#)]) を表示する
ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、フォルダを表示させ、画面上にある  を押すと便利です。
2. ライブラリ ( [[ライブラリ名](#)]) をクリックする
レコード一覧が表示されます。
3. レコードの詳細データを閲覧する場合は、各レコードの [[閲覧](#)]  をクリックする
カレンダー表示画面からは、日付欄に表示されている [[見出し](#)] をクリックする
[[見出し](#)] をクリックしてレコードの詳細データを閲覧する方法は、カレンダー表示画面からのみ行うことができます。カレンダー表示画面の表示方法は 33 ページをご覧ください。
ライブラリの閲覧権限がない場合は、[[閲覧](#)]  及び [[見出し](#)] は表示されません。



並べ替えたい










「ソート」が設定されているフィールドは、各レコードのフィールドデータを元にレコードを昇順 / 降順に並べ替えることができます。

！ あらかじめソートが設定されている必要があります。

レコード番号・更新日時については、設定しなくてもソートが可能です。

ライブラリに対する閲覧権限のあるユーザーのみ行えます。

ソートする

1. ホーム画面  に、レコードをソートしたいライブラリ ( [[ライブラリ名](#)]) を表示する
ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、フォルダを表示させ、画面上にある  を押すと便利です。
2. ライブラリ ( [[ライブラリ名](#)]) をクリックする
レコード一覧が表示されます。
3. ソート対象にしたいフィールド名の横に表示された   をクリックする
ソートされたレコード一覧が表示されます。
ソートの設定をすることで、  が表示されます。
レコードを絞り込んだ状態、あるいはレコード一覧ビューを切り替えた状態でもソートできます。
ソートの実行は、1つのフィールド値においてのみ可能です。但し、レコード番号については他のフィールドでソートが行われても常にソート機能が働きます。
ソート前の表示に戻すには、画面左上の ( [[ライブラリ名](#)]) を押して、全レコードをあらためて表示してください。



▶ライブラリにアクセスした時のソート順

ライブラリ管理

ライブラリ管理者は、デフォルトビューの設定でライブラリにアクセスした際のソート順を、ユーザー毎に設定することができます。

データベース作成直後は「レコード番号」の「降順」に設定されています。



検索したい

多くの情報から目的のデータを検索する方法として、以下をご用意しています。

➤ 検索

キーワードを入力して、全フィールド × 全レコードを対象に、指定した文字や数値を含むレコードを簡単に検索することができます（チェックボックスを除く）。どのフィールドに対して検索すればよいのか分からないときに便利です。

➤ 詳細検索

対象フィールドを指定して、一度に複数の条件を指定し、その条件をすべて満たす (AND 条件)、あるいはいずれかを満たす (OR 条件) でレコードを検索します。さらに、検索結果に対してさらに検索をすることが可能です。これにより、担当者が「田中さん」か「佐藤さん」で、対応状況が「済み」になっているレコードと言ったような複雑な条件での検索ができます。

➤ 絞り込み

あらかじめ登録した頻繁に利用される条件で、検索します。

➤ ライブラリ検索

デジエ で作成したライブラリについて、「ライブラリ名」「ライブラリメモ」を対象に検索をすることができます。検索対象のフォルダを検索したい、あるいは「レコード値」を対象にして検索したい場合はライブラリの詳細検索を利用します。








カスタマイズのメニューの設定で、検索、詳細検索、絞り込みが非表示になっている場合は、それぞれを実行することはできません。

データ数の多いライブラリの場合には、詳細検索の利用をお勧めします。通常の場合、全フィールド × 全レコードに対して検索がかかるため、時間がかかります。

自動ルックアップフィールドを対象に検索を実行すると、仕様上、通常より時間がかかります。



簡易検索する

1. ホーム画面  に、レコードを検索したいライブラリ ( [[ライブラリ名](#)]) を表示する
ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、フォルダを表示させ、画面上にある  を押しすと便利です。
2. ライブラリ ( [[ライブラリ名](#)]) をクリックする
レコード一覧画面が表示されます。
3. レコード一覧画面の上の   に、検索したい文字列を入力する
4.  を押す
検索結果が一覧で表示されます。

検索後に [[詳細検索](#)] をクリックすると、条件設定欄に検索内容が表示され、引き続き検索を行えます。

カスタマイズのメニューの設定で、検索が非表示になっている場合は、それぞれを実行することはできません。






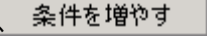
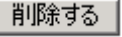
検索件数を「表示する」に設定している場合は、画面左上に検索結果として、ヒットしたレコード数が表示されます。



詳細検索する

一度に複数の条件を指定し、その条件をすべて満たす（AND 条件）、あるいはいずれかを満たす（OR 条件）でレコードを検索します。対象フィールドを指定できるので、大量のデータから早く検索したいときに便利です。

検索対象フィールドの指定や、日付や数値の範囲指定、チェックされているかどうかの指定なども可能です。そして、検索結果に対してさらに検索をすることが可能です。

1. ホーム画面  に、レコードの詳細検索を行いたいライブラリ（  [[ライブラリ名](#)] ）を表示する
ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、フォルダを表示させ、画面上にある  を押すと便利です。
2. ライブラリ（  [[ライブラリ名](#)] ）をクリックする
レコード一覧画面が表示されます。
3. [[詳細検索](#)] をクリックする
検索条件を設定する画面が表示されます。
4. 検索条件を指定する
 タブが選択されていることを確認してください。
 - ▶ 複数の条件を設定した場合は、プルダウンメニューから検索方法を選択します。
 - ・「以下の全ての条件を満たす場合」（AND 検索）
 - ・「以下のいずれかの条件を満たす場合」（OR 検索）
 AND 条件と OR 条件を同時に満たす検索を行うことも可能です。設定方法は、24 ページ「AND 条件と OR 条件を同時に満たす検索を行いたい」をご覧ください。
 - ▶ プルダウンメニューから検索対象にするフィールド名を指定します。
 - ・「いずれかのフィールド」を指定すると、全てのフィールドが対象になります。
 - ▶ 検索条件を指定します。 入力の方法は、26 ページを参照してください。
 - ・文字列、数値、日付等を入力します。
 - ・検索演算子を指定します。
 - ・設定条件を増やすときは、  を押し、減らすときは  を押します。
 検索対象フィールドのフィールドタイプによって有効な検索演算子が異なります。詳しくは 31 ページ「有効な検索演算子」をご覧ください。

5. **検索する** を押す

検索結果が表示されます。

検索をしない場合は、検索結果画面の **検索条件** タブをクリックすると、元の条件に追加・編集できます。


カスタマイズのメニューの設定で、詳細検索が非表示になっている場合は、実行することはできません。

アクセス権が制限されていて、検索するユーザーが閲覧できないフィールドについては、検索対象となりません。

検索件数を「表示する」設定の場合は、画面左上に検索結果としてヒットしたレコード数が表示されます。

AND 条件と OR 条件を同時に満たす検索を行いたい

AND 条件と OR 条件を同時に満たす検索をするには、**さらに検索する条件** タブを利用します。設定例は、以下をご覧ください。



**ONE
POINT**

▶ AND 条件と OR 条件を同時に満たす検索をする例

[さらに絞り込む条件] を利用することで、以下のような AND 条件と OR 条件を同時に満たす検索をすることが可能です。

例) 担当者が、田中さんか佐藤さんで、対応状況が完了になっているレコードを検索する。

検索条件				
[以下のいずれかの条件を満たす場合] (OR 条件)				
・	「担当者」フィールド	が	田中	と同じ
・	「担当者」フィールド	が	佐藤	と同じ
さらに検索する条件				
[以下のすべての条件を満たす場合] (AND 条件)				
・	「状況」フィールド	が	完了	と同じ

▶ AND 条件と OR 条件を同時に満たす検索の設定方法

1. 検索条件を指定する

検索条件

タブが選択されていることを確認してください。

2. プルダウンメニューから検索対象にするフィールド名を指定します。

プルダウンメニューから検索対象にしたいフィールド名を指定します。「いずれかのフィールド」を指定すると、全てのフィールドが対象になります。

3. 検索条件を指定します。 入力の方法は、26 ページを参照してください。

- ・文字列、数値、日付等を入力します。

- ・検索演算子を指定します。

- ・設定条件を増やすときは、**条件を増やす** を押し、減らすときは **削除する** を押します。

検索対象フィールドのフィールドタイプによって有効な検索演算子が異なります。詳しくは 31 ページ「有効な検索演算子」をご覧ください。

4. **さらに検索する条件** タブをクリックする

プルダウンメニューから検索方法を選択します。

- ・「以下の全ての条件を満たす場合」 (AND 検索)

- ・「以下のいずれかの条件を満たす場合」 (OR 検索)

5. 検索対象フィールドを指定する

プルダウンメニューから絞り込み対象にしたいフィールド名を指定します。「いずれかのフィールド」を指定すると、全てのフィールドが対象になります。

6. 絞り込みの条件を指定する 入力の方法は、26 ページを参照してください。

- ・文字列、数値、日付等を入力します。

- ・検索演算子を指定します。

- ・設定条件を増やすときは、**条件を増やす** を押し、減らすときは **削除する** を押します。

検索対象フィールドのフィールドタイプによって有効な検索演算子が異なります。詳しくは 31 ページ「有効な検索演算子」をご覧ください。

7. **検索する** を押す

検索結果が表示されます。

検索をしない場合は、検索結果画面の **検索条件** **さらに検索する条件** タブをクリックすると、元の条件に追加・編集できます。

！ **検索条件** タブが選択されている状態で **検索する** を押し、 **さらに検索する条件** が入力されていても、 **検索条件** のみで検索を実行します。 **さらに検索する条件** を含めて検索する際は、必ず **さらに検索する条件** タブが選択されている状態で **検索する** を実行してください。

カスタマイズのメニューの設定で、詳細検索が非表示になっている場合は、実行することはできません。

アクセス権が制限されていて、検索するユーザーが閲覧できないフィールドについては、検索対象となりません。

検索件数を「表示する」設定の場合は、画面左上に検索結果としてヒットしたレコード数が表示されます。

ONE POINT

▶ **検索条件の入力方法**

- ▶メニュー（文字列） ・設定されている項目がプルダウンメニューで表示されます
ラジオボタン
- ▶メニュー（ユーザー） ・デジエ に設定されているユーザーがプルダウンメニューで
登録者、更新者 表示されます
- ▶日付、日付時刻、時刻 ・プルダウンメニューから日付、時刻を選択できます。半角文字
登録日時、更新日時 字を利用して直接入力も行えます。

全角/半角は区別します。（数値は半角）

大文字/小文字は区別しません。

文字列や数値等が何も入っていないレコードを検索したい場合は、入力フィールドには何も記入せず、検索演算子を「と同じ」に設定します。





2000年1月1日以前の日付を検索したい場合は、（直接入力）を指定して日付を指定して下さい。



▶ **日付、日付時刻、登録日時、更新日時フィールドの条件指定**

- **今日、昨日、明日**：実行している日から換算します。
- **今週、先週、来週**：実行している週から換算して、日曜から土曜で区切ります。
- **今月、先月、来月**：実行している月から換算して、1日から月末日で区切ります。
- **今年、昨年、来年**：実行している年から換算して、1月から12月で区切ります。

絞り込みする

1. ホーム画面  に、レコードの絞り込みを行いたいライブラリ ( [[ライブラリ名](#)]) を表示する
ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、フォルダを表示させ、画面上にある  を押すと便利です。
2. ライブラリ ( [[ライブラリ名](#)]) をクリックする
レコード一覧画面が表示されます。
3. 「絞り込」のプルダウンメニューから、ご希望の絞り込み名をクリックする
絞り込まれた状態のレコード一覧が表示されます。

カスタマイズのメニューの設定で、絞り込みが非表示になっている場合は、それぞれを実行することはできません。


絞り込み件数を「表示する」設定の場合は、画面左上に絞り込み結果のレコード数が表示されます。

絞り込んだ状態でレコード一覧ビューを切り替えることもできます。

絞り込みにアクセス権が設定されている場合は、ユーザーによって利用可能な絞り込みが異なります。

絞り込んだレコードに対して、「集計」「CSV書き出し」「文字列の置換」「再ルックアップ」「印刷」「一括削除」「XML書き出し」「レコードコピー」も行えます。




ライブラリ検索する  ライブラリ管理

デジエ で作成したライブラリについて、「ライブラリ名」「ライブラリメモ」を対象に検索をすることができます。検索対象のフォルダを検索したい、あるいは「レコード値」を対象にして検索したい場合は、ライブラリの **詳細検索** を利用します。

▶ ライブラリ検索



1. ホーム画面  で  に検索したい文字列を入力する
2. **ライブラリ検索** ボタンを押す

検索結果が表示されます。

( [[ライブラリ名](#)]) をクリックすると、レコード一覧画面が表示されます。

検索条件 をクリックすると、ライブラリ検索をした条件が反映された検索条件設定画面が表示されます。ここから新たに条件を指定して検索することも可能です。

▶ ライブラリ詳細検索

1. ホーム画面  で  横の [[詳細検索](#)] をクリックする
「ライブラリ検索」画面が表示されます。

2. 以下の項目を設定する

▶ 検索対象フォルダ

検索したいフォルダをプルダウンメニューから選択します。

「サブフォルダも検索対象とする」にチェックを入れると、検索対象フォルダに指定したフォルダ階層下のフォルダ以下のライブラリを検索対象できます。

▶ 検索文字列

検索したい文字列を登録します。

▶ 検索対象

検索したい項目を以下のいずれかから選択します。




- ・ライブラリ名・メモ
- ・レコード値

! 「レコード値」を対象にして検索をすると、ライブラリ数、登録レコード数によっては非常に時間がかかる可能性があります。実行する場合は、あらかじめご注意ください。

3. **検索する** を押す

検索結果が表示されます。



4. ( [[ライブラリ名](#)]) あるいは  [[レコード簡易検索](#)] をクリックする
検索結果でクリックする対象によって表示されるレコードが異なります。
- ▶ [ライブラリ名](#)
ライブラリのレコード一覧画面を表示します。
 - ▶ [メモ](#)
ライブラリの「[ライブラリの情報](#)」画面を表示します。
 - ▶ [レコード簡易検索](#)
「1」で入力した文字列でライブラリに登録されているレコードを対象に検索した結果をレコード一覧画面に表示します。
 をクリックすると、ライブラリ検索をした条件が反映された検索条件設定画面が表示されます。ここから新たに条件を指定して検索することも可能です。



有効な検索演算子

有効な 検索演算子 フィールド タイプ	と同じ	と異なる	を含む	を含まない	以降	以前	より大きい	以上	より小さい	以下	チェック済み	未チェック
文字列(一行)	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
文字列(複数行)	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
数値	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×
URL	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
チェックボックス(※1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
ラジオボタン(※1)	○	○	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×
メニュー(文字列)(※1)	○	○	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×
メニュー(ユーザー)(※1)	○	○	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×
日付	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×
時刻	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×
日付時刻	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×
ファイル	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
イメージ	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
自動計算	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×
自動採番	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×
時間量	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×
自動計算(※2)	○	○	×	×	△	△	△	△	△	△	×	×
自動ルックアップ(※3)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
レコード番号	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×
登録者(※1)	○	○	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×
更新者(※1)	○	○	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×
登録日時	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×
更新日時	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×

1 直接入力時のみ が有効となります。

2 計算結果が「日付」「時刻」「日付時刻」の場合は「以降」「以前」「時間量」の場合は「より大きい」「以上」「より小さい」「以下」が有効となります。

3 ルックアップしたデータのフィールドタイプに合わせた検索演算子が有効となります。

< ! > 以下の場合は全ての検索演算子が有効となります。

- ・ リレーションの設定がされていない「自動ルックアップ」フィールド
- ・ 計算の設定がされていない「自動計算」「時間計算」フィールド



見せ方を変えたい

ライブラリを効率よく閲覧するために、以下の機能を搭載しています。

➤ レコード一覧ビュー

ライブラリ内のレコードに対して、画面に表示させるフィールドをあらかじめ設定することができます。レコードをカードのように表示させて横方向に並べたり、フィールドレイアウトを採用したビューも登録できます。

➤ リンクリスト

よく使うライブラリや、Web ページを登録することができます。リンクリストには、関連リンク、My リンクを設定できます。





➤ フィールドレイアウト

レコード登録画面で、あらかじめ設定してあるフィールドレイアウトを選択すると、より入力し易くなります。

レコード一覧ビューを利用する

！ あらかじめ、レコード一覧ビューが登録されている必要があります。

画面のカスタマイズのメニュー設定で、レコード一覧ビューが非表示になっている場合は、実行することができません。

1. ホーム画面  に、レコード一覧ビューの切り替えを行いたいライブラリ ( [[ライブラリ名](#)]) を表示する
ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、フォルダを表示させ、画面上にある  を押すと便利です。
2. ライブラリ ( [[ライブラリ名](#)]) をクリックする
レコード一覧画面が表示されます。
3. レコード一覧ビューのプルダウンメニューから、ご希望のレコード一覧ビューをクリックする
切り替わった状態のレコード一覧が表示されます。

カレンダー一覧表示画面からは、月での表示が行えるカレンダー表示に切り替えることができます。カレンダー表示への切り替え方法は、以下の [OnePoint](#) をご覧ください。
レコード一覧ビューを切り替えた状態で「絞り込み」を行うことができます。
レコード一覧ビューにはアクセス権が設定されている場合があるため、利用可能なレコード一覧ビューはユーザーにより異なります。




▶カレンダー表示画面の表示方法

レコード一覧ビューでカレンダー形式を設定したレコード一覧ビューを選択すると、カレンダー一覧画面もしくは、カレンダー表示画面が表示されます。

カレンダー形式のレコード一覧ビュー選択した際に、初めに表示される画面は、カレンダー形式ビューの設定時に指定した初期表示です。

カレンダー一覧表示画面、カレンダー表示画面は互いに画面を切り替えることが可能です。

カレンダー一覧表示からカレンダー表示への切り替え方法






1. カレンダー一覧画面にて、カレンダー表示をしたい月の  アイコンをクリックする
2. カレンダー表示画面が表示されます

カレンダー表示画面からカレンダー一覧表示への切り替え方法

1. カレンダー表示画面にて、画面左下の [[カレンダー一覧表示へ](#)] をクリックする
2. カレンダー一覧表示画面が表示されます


リンクリストの表示

画面のカスタマイズのメニュー設定でリンクリストが非表示になっている場合は、実行することができません。

1. ホーム画面  に、リンクリストを表示したいライブラリ ( [[ライブラリ名](#)]) を表示する
ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、フォルダを表示させ、画面上にある  を押すと便利です。
2. ライブラリ ( [[ライブラリ名](#)]) をクリックする
レコード一覧画面が表示されます。
3. 画面左上の  を押す
画面左に、リンクリストの領域が表示されます。
「 My リンク 」 「 関連リンク 」 の横の [[設定](#)] をクリックすると、それぞれにリンクを設定できます。

My リンクは、「 個人設定 」 画面からも設定できます。

関連リンクは、ライブラリ管理者によって設定できます。







リンクリストを非表示にするには、リンクリスト右上にある  を押します。



フィールドレイアウトを利用する

！ あらかじめ、フィールドレイアウトが登録されている必要があります。

画面のカスタマイズのメニュー設定でフィールドレイアウトが非表示になっている場合は、実行することができません。

1. ホーム画面  に、フィールドレイアウトを利用してレコードの登録あるいは編集を行いたいライブラリ ( [[ライブラリ名](#)]) を表示する
ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、フォルダを表示させ、画面上にある  を押すと便利です。
2. ライブラリ ( [[ライブラリ名](#)]) をクリックする
レコード一覧画面が表示されます。
3. レコードを登録する場合は  レコードを登録する を、レコードを編集する場合は、そのレコードの [[編集](#)]  をクリックする
「レコードの新規登録」画面 あるいは 「レコードの編集」画面が表示されます。
4. 画面右上の「フィールドレイアウト」のプルダウンメニューをクリックし、ご希望のフィールドレイアウトをクリックする
切り替わった状態のフィールドレイアウトが表示されます。



印刷をしたい







以下の画面を印刷することができます。

- ▶ レコード一覧画面
- ▶ カレンダー表示画面
- ▶ レコード閲覧画面
- ▶ 検索結果（ 詳細検索を含む ）
- ▶ 集計結果

レコード一覧では、全レコードはもちろんのこと、絞り込み結果を対象に印刷することも可能です。また、レコード一覧ビューを切り替えての印刷もできます。

画面のカスタマイズのメニューの設定で印刷が非表示に設定されている場合は、印刷を実行することはできません。

レコードを印刷する

1. ホーム画面  に、レコードを印刷したいライブラリ ( [[ライブラリ名](#)]) を表示する
ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、フォルダを表示させ、画面上にある  を押すと便利です。
2. ライブラリ ( [[ライブラリ名](#)]) をクリックする
レコード一覧画面が表示されます。
3. 印刷したいデータを表示させる
 - ▶ **レコード一覧画面・カレンダー表示画面の印刷**
必要であれば、絞り込みの実行やレコード一覧ビューの切り替えを行ってください。
カレンダー表示画面の表示方法は、33 ページの **one point** をご覧ください。
画面のカスタマイズのメニューの設定で、絞り込み および レコード一覧ビューの設定が非表示になっている場合は、表示を切り替えての印刷を実行することはできません。
 - ▶ **レコード閲覧画面の印刷**
該当するレコードの [[閲覧](#)]  を押してください。
4. 画面右上の  [[印刷](#)] をクリックする
「印刷の設定」画面が別ウィンドウで表示されます。



5. 各設定をする

▶ **印刷レコード数**

印刷するレコード数を指定します。初期値は「個人設定と同じ」です。

「個人設定と同じ」とすると、「個人設定メニュー」画面での「表示の設定」が採用されます。

レコード閲覧画面の印刷では表示されません。

▶ **表題フォント**

ライブラリ名のフォントサイズを指定します。初期値は 14 point です。

▶ **内容フォント**

レコードのフォントサイズを指定します。初期値は 11 point です。

6. **印刷する** を押す

各 Web ブラウザの印刷画面が表示されるので、印刷を実行してください。



関連付いたライブラリのデータを取得したい

リレーションを設定すると、リレーション先のライブラリからデータを取得 あるいは 参照（ルックアップ）することができます。

➤ 手動ルックアップの場合

レコード登録時に ルックアップボタン を押すことでデータを取得できます。

また、リレーション先のデータが変更された際は、再ルックアップを実行することでデータを更新できます。再ルックアップでは、全レコードを対象とするのはもちろんのこと、検索または絞り込み結果を対象に実行することも可能です。

➤ 自動ルックアップの場合

リレーション先のライブラリのデータを 参照 し、データに変更があった場合は自動で反映されるフィールドのため、ルックアップに際して特別な作業を行う必要はありません。





以下は、手動ルックアップでのレコード登録手順です。

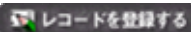
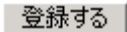
ルックアップでレコードを登録する

あらかじめリレーション/ルックアップが設定されている必要があります。





手動ルックアップが設定されている場合、フィールド入力欄の右横にルックアップボタンが表示されます。

データを入力した後にルックアップボタンを押すと、設定されたフィールドに値が自動的に入力されます。


1. ホーム画面  に、レコードを追加したいライブラリ ( [[ライブラリ名](#)]) を表示する
ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、フォルダを表示させ、画面上にある  を押すと便利です。
2. ライブラリ ( [[ライブラリ名](#)]) をクリックする
レコード一覧画面が表示されます。

3.  を押す
「レコードを登録する」画面が表示されます。
4. リレーションが設定されているフィールドにデータを入力し、右横の [[\(リレーション名\)](#)] ボタンを押す
手動ルックアップが設定されているフィールドに、データが登録されたことを確認してください。
! 登録されていない場合は、入力したデータが、リレーション元のライブラリにないものだったか、あるいはリレーションの設定に問題がある可能性があります。再度、ご確認ください。
ルックアップボタンの隣の [[参照](#)] をクリックすると、関連付けられているライブラリが別ウィンドウで開きます。値を参考にしながら入力することができます。
5.  を押す
レコード閲覧画面が表示されます。

再ルックアップの実行


1. ホーム画面  に、再ルックアップを実行したいライブラリ ( [[ライブラリ名](#)]) を表示する
ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、フォルダを表示させ、画面上にある  を押すと便利です。
2. ライブラリ ( [[ライブラリ名](#)]) をクリックする
レコード一覧画面が表示されます。

▶ 全レコードに対しての再ルックアップ

1. レコード一覧画面右上の  [[再ルックアップ](#)] をクリックする
「再ルックアップ」画面が表示されます。
リレーション、手動ルックアップが設定されていない場合は、表示されていません。
再ルックアップ機能にアクセス権がない、あるいはカスタマイズのメニューの設定によって、「再ルックアップ」が非表示となっている場合は、実行できません。

2. 「リレーション」のプルダウンメニューから、再ルックアップを実行したいリレーション名を選択する
参照ライブラリ、参照フィールド、代入フィールドを確認してください。
再ルックアップするレコード数が多い場合は、時間がかかる場合があります。
3. を押す
確認画面が表示されます。
アクセス権のないフィールドは、ルックアップされません。詳しくは、手動ルックアップとアクセス権との関係 をご覧ください。

▶ 検索・絞り込んだレコードに対しての再ルックアップ

1. レコードの検索、および絞り込みを行います。
カスタマイズのメニューの設定によって、検索、絞り込みが非表示となっている場合は、実行できません。
2. 検索、絞り込みが行われたレコード一覧画面右上の  [[再ルックアップ](#)] をクリックする
「再ルックアップ」画面が表示されます。
リレーション、手動ルックアップが設定されていない場合は、表示されていません。
再ルックアップ機能にアクセス権がない、あるいはカスタマイズのメニューの設定によって、「再ルックアップ」が非表示となっている場合は、実行できません。
3. 「リレーション」のプルダウンメニューから、再ルックアップを実行したいリレーション名を選択する
参照ライブラリ、参照フィールド、代入フィールドを確認してください。
再ルックアップするレコード数が多い場合は、時間がかかる場合があります。
4. を押す
確認画面が表示されます。
アクセス権のないフィールドは、ルックアップされません。詳しくは、手動ルックアップとアクセス権との関係 をご覧ください。



▶再ルックアップに関する注意

- ▶ 再ルックアップするレコード数が多い場合、処理が完了されるまでに数十秒以上かかることがあります。処理が終わるまで、ブラウザの中止ボタンを押さないでお待ちください。
- ▶ 1万件以上のレコード数を再ルックアップする場合には、CGI タイムアウトにより、処理が中断される場合があります。
- ▶ レコード数が多い場合は、レコード番号による絞り込みやキーワード検索などを活用し、数回に分けて再ルックアップを行ってください。

▶手動ルックアップとアクセス権との関係

以下の場合、手動ルックアップを実行することができません。

- ・ リレーションを設定している関連付いたフィールドの閲覧権限がない
キーとなるフィールドが非表示のため、ルックアップボタンが表示されません。
- ・ データ取得先のフィールドの閲覧、編集権限がない
ルックアップボタンを押しても、編集権限がないため反映されません。



集計したい

あらかじめ集計の設定がされているフィールドに対して、集計を実行できます。




全レコードを対象にすることはもちろん、検索や絞り込み結果のレコードについても集計が可能です。


！ あらかじめ 「 集計 」 が設定されている必要があります。

カスタマイズのメニューの設定で、「 集計 」 が非表示になっている場合は、集計を実行することはできません。

ライブラリの閲覧権限、集計対象フィールド および 小計対象フィールドの閲覧権限があるユーザーのみが行えます。


集計する

1. ホーム画面  に、集計を行いたいライブラリ ( [[ライブラリ名](#)]) を表示する
ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、フォルダを表示させ、画面上にある  を押すと便利です。

2. ライブラリ ( [[ライブラリ名](#)]) をクリックする
レコード一覧画面が表示されます。

▶ 全レコードに対して集計する場合

以下の方法で実行できます。



1. ヘッダに配置されている 「 集計 」 のプルダウンメニューより、希望の集計を選択して  を押す




集計が設定されていない場合は、「 集計 」 のプルダウンメニューは表示されません。

カスタマイズのメニューの設定で、「 集計 」 が非表示になっている場合は、集計を実行することはできません。



▶ 検索・絞り込んだレコードに対して集計する場合

1. レコードの検索、および絞り込みを行う
2. 検索、絞り込みが行われたレコード一覧画面のヘッダに配置されている「集計」のプルダウンメニューより、希望の集計を選択する
集計が設定されていない場合は、「集計」のプルダウンメニューは表示されません。
カスタマイズのメニューの設定で、「集計」が非表示になっている場合は、集計を実行することはできません。
3.  を押す
集計結果が表示されます。
小計が設定されている場合、「小計対象の値」「小計値」欄の  を押すと、集計結果をソートできます。

	<p>▶印刷の実行</p> <p>集計結果の画面で、ツールバーにある  [印刷] をクリックすると、集計結果を印刷できます。</p> <p>▶CSV ファイルへの書き出し</p> <p>集計結果の画面で、ツールバーにある  [CSV 書き出し] をクリックすると、集計結果を CSV ファイルに書き出すことができます。</p> <p>グラフを書き出すことはできません。</p>
--	---



ONE POINT

▶集計の設定例

商品毎の売り上げ高の合計値を月毎に集計する。

対象のライブラリに、「売上月」「商品名」「売上額」の各フィールドがある場合。

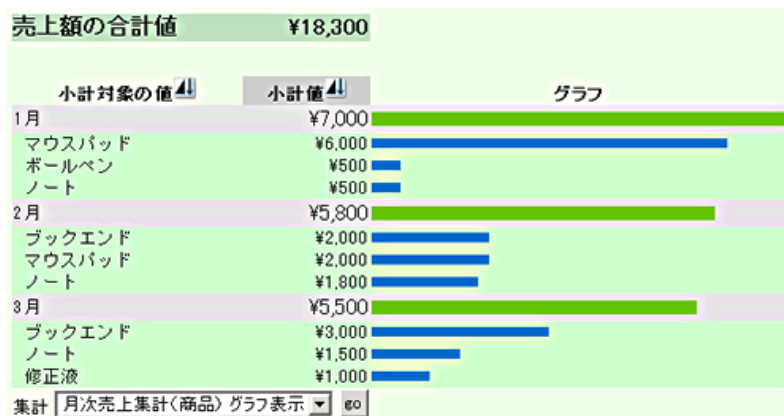
- ▶ 集計の種類 : 合計値
- ▶ 集計名 : 月次売り上げ集計(商品)
- ▶ 集計するフィールド : 売上額
- ▶ 小計対象 1 : 売上月
- ▶ 小計対象 2 : 商品名

以上の設定項目を指定すると ..

集計の実行結果として、以下のページが表示されます。

売上額の合計値		¥18,300
小計対象の値	小計値	
1月	¥7,000	
マウスパッド	¥6,000	
ボールペン	¥500	
ノート	¥500	
2月	¥5,800	
ブックエンド	¥2,000	
マウスパッド	¥2,000	
ノート	¥1,800	
3月	¥5,500	
ブックエンド	¥3,000	
ノート	¥1,500	
修正液	¥1,000	
集計	月次売上集計(商品)	go

グラフを表示させた場合のイメージです。





文字を置換したい

全レコードはもちろんのこと、検索や絞り込み結果のレコードに対して、文字列を置換することができます。

▶ 置換対象

編集権限のあるフィールドのみ

▶ 置換対象外




レコード情報（レコード番号、登録日時、登録者、更新日時、更新者）、チェックボックス、自動計算、時間計算、自動ルックアップフィールド、空白のレコード


ファイルフィールドはファイル名の置換が可能です。

メニューのカスタマイズの設定で、「文字列置換」が非表示となっている場合は、実行できません。


ライブラリへのアクセス権（レコードの閲覧権限）および文字列置換のアクセス権があるユーザーのみが行えます。

置換する

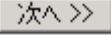

1. ホーム画面  に、文字列を置換したいライブラリ（ [[ライブラリ名](#)]）を表示する
ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、フォルダを表示させ、画面上にある  を押すと便利です。

2. ライブラリ（ [[ライブラリ名](#)]）をクリックする
レコード一覧画面が表示されます。




▶ 全レコードに対しての置換

1. レコード一覧画面を表示させ、ツールメニューの  [[文字列置換](#)] をクリックする
「文字列の置換」画面が表示されます。
カスタマイズのメニューの設定で、「文字列置換」が非表示となっている、あるいは文字列置換のアクセス権がない場合は、実行できません。
2. 置換対象にするフィールドを、プルダウンメニューから選択する
現在選択されているレコード一覧ビューで閲覧可能なフィールドのみ、プルダウンメニューに表示されます。
! 「すべてのフィールド」を選択すると、選択されているレコード一覧ビューで閲覧されていないフィールドも置換されます。



3. 置換前の文字列と置換後の文字列をそれぞれ入力する
下記、置換する際の注意事項 をご参照ください。
4.  をクリックする
確認画面が表示されます。
5. 置換内容を確認し  を押す
文字列が置換され、確認画面が表示されます。

▶ 検索・絞り込んだレコードに対しての置換

1. レコードの検索 および 絞り込みを実行する
カスタマイズのメニューの設定で、検索、絞り込みが非表示となっている場合は、実行できません。
2. 検索、絞り込みが行われたレコード一覧画面で、ツールメニューの  [[文字列置換](#)] をクリックする
「文字列の置換」画面が表示されます。
カスタマイズのメニューの設定で、「文字列置換」が非表示となっている、あるいは文字列置換にアクセス権がない場合は、実行できません。
3. 置換対象にするフィールドをプルダウンメニューから選択する
現在選択されているレコード一覧ビューで閲覧可能なフィールドのみ、プルダウンメニューに表示されます。
! 「すべてのフィールド」を選択すると、選択されているレコード一覧ビューで閲覧されていないフィールドも置換されます。
4. 置換前の文字列と置換後の文字列をそれぞれ入力する
下記、置換する際の注意事項 をご参照ください。
5.  をクリックする
確認画面が表示されます。
6. 置換内容を確認し  を押す
文字列が置換され、確認画面が表示されます。



▶置換する際の注意事項

- ・ **メニュー（文字列）、ラジオボタン**
設定されている項目がプルダウンメニューで表示されます。直接入力を行う場合、メニュー項目あるいは選択項目として登録されている情報を入力してください。完全に一致したもののみを置換します。
- ・ **メニュー（ユーザー）、登録者、更新者**
デジエ に設定されているユーザーがプルダウンメニューで表示されます。
直接入力を行う場合、ユーザーとして登録されている情報を入力してください。と完全に一致したもののみを置換します。
- ・ **日付、日付時刻、時刻、登録日時、更新日時**
プルダウンメニューから日付、時刻を選択できます。

レコードをコピーしたい



あらかじめ設定されているレコードコピーを実行することができます。
全レコードはもちろんのこと、検索や絞り込み結果のレコードをコピーし、指定のライブラリへレコードを追加することができます。


メニューのカスタマイズの設定で、「レコードコピー」が非表示となっている場合は、実行できません。


以下の権限をもっていないユーザーはレコードコピーを実行することができません。

- ・コピー先ライブラリのライブラリ管理者
- ・コピー先ライブラリのレコード追加アクセス権
- ・コピー先フィールドのアクセス権(編集権)


- ・コピー元フィールドのアクセス権(閲覧)

1. ホーム画面  に、レコードコピーをしたいライブラリ ( [ライブラリ名]) を表示する

ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、フォルダを表示させ、画面上にある  を押すと便利です。

2. ライブラリ ( [ライブラリ名]) をクリックする
レコード一覧が表示されます。

▶全レコードに対してのレコードコピー

1. レコード一覧画面を表示させ、ツールメニューの  [レコードコピー] をクリックする

「レコードコピー」画面が表示されます。

カスタマイズのメニューの設定で、「レコードコピー」が非表示となっている、あるいはレコードコピーのアクセス権がない場合は、実行できません。



2. 実行するレコードコピーをプルダウンメニューから選択する

現在設定されているレコードコピーのうち、実行可能なレコードコピーのみ、プルダウンメニューに表示されます。

レコードコピー実行後に、コピー先のライブラリが 11 レコード以上になるときは、本運用に切り替える必要があります。なお、本運用への変更はシステム管理者、もしくは本運用切替権限を与えられたユーザーのみ行えます。

3. コピー先ライブラリ欄の [参照] をクリックするとコピー先ライブラリを閲覧できます

4. [実行する] をクリックする

確認画面が表示されます。


5. レコードコピーの内容を確認し [レコード一覧へ戻る] を押す

コピー元ライブラリのレコード一覧画面に戻ります

▶検索・絞り込んだレコードに対してのレコードコピー

1. レコードの検索 および 絞り込みを実行する

カスタマイズのメニューの設定で、検索、絞り込みが非表示となっている場合は、実行できません。

2. 検索、絞り込みが行われたレコード一覧画面で、ツールメニューの  [[レコードコピー](#)] をクリックする

「レコードコピー」画面が表示されます。

カスタマイズのメニューの設定で、「レコードコピー」が非表示となっている、あるいはレコードコピーのアクセス権がない場合は、実行できません。



3. 実行するレコードコピーをプルダウンメニューから選択する

現在設定されているレコードコピーのうち、実行可能なレコードコピーのみ、プルダウンメニューに表示されます。

レコードコピー実行後に、コピー先のライブラリが 11 レコード以上になるときは、本運用に切り替える必要があります。なお、本運用への変更はシステム管理者、もしくは本運用切替権限を与えられたユーザーのみ行えます。

4. コピー先ライブラリ欄の [参照] をクリックするとコピー先ライブラリを閲覧できます

5. [実行する] をクリックする

確認画面が表示されます。

6. レコードコピーの内容を確認し [レコード一覧へ戻る] を押す

コピー元ライブラリのレコード一覧画面に戻ります



外部ファイルに出力したい

デジエ 利用者は、**ライブラリを自由に CSV ファイル形式で書き出すことができます。**

全レコードを対象とした書き出しはもちろんのこと、検索や絞り込み結果のレコードも書き出すことができます。





カスタマイズのメニューの設定で「 CSV 書き出し 」が非表示になっている場合は、CSV ファイルへの書き出しを実行することはできません。

ライブラリへの閲覧権限 および 高度な機能のアクセス権の設定で「 CSV 書き出し 」のアクセス権があるユーザーのみが行えます。


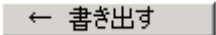
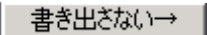
閲覧権限のないフィールドは、書き出すフィールドの選択欄に表示されないため、書き出すことはできません。

DBM ファイルへの書き出しは、ライブラリ管理者のみ行うことができます。

CSV ファイルへの書き出し

1. ホーム画面  に、CSV ファイルへの書き出しを行いたいライブラリ ( [[ライブラリ名](#)]) を表示する
ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、フォルダを表示させ、画面上にある  を押すと便利です。
2. ライブラリ ( [[ライブラリ名](#)]) をクリックする
レコード一覧画面が表示されます。


▶ 全レコードに対しての CSV ファイルへの書き出し

1. ツールメニューの  [[CSV 書き出し](#)] をクリックする。
「 CSV ファイルへの書き出し-Step1/2 」画面が表示されます。
カスタマイズのメニューの設定で「 CSV 書き出し 」が非表示に設定されている、あるいは高度な機能のアクセス権の設定で「 CSV 書き出し 」のアクセス権がない場合は、実行することはできません。
2. CSV ファイルに書き出すフィールドを選択する
「 書き出す/書き出さないフィールド 」欄のフィールド名を反転させ、
 書き出す  を押して移動させます。
フィールド名も書き出す場合は、「 先頭行をフィールド名として書き出す 」に する
初期値は、レコード一覧で表示されていたフィールドが、書き出すフィールドに表示されています。



3. **次へ >>** を押す
「 CSV ファイルへの書き出し - Step2/2 」 画面が表示されます。
4. 書き出される CSV ファイルの中身を確認して **書き出す** を押す
訂正したい場合は、 **<< 前へ** を押して前の操作に戻って修正します。

▶ **検索・絞り込んだレコードに対しての CSV ファイルへの書き出し**

1. レコードの検索 および 絞り込みを実行する
カスタマイズのメニューの設定で、検索、絞り込みが非表示になっている場合は、実行できません。
2. ツールメニューの  [[CSV 書き出し](#)] をクリックする。
「 CSV ファイルへの書き出し-Step1/2 」画面が表示されます。
カスタマイズのメニューの設定で 「 CSV 書き出し 」 が非表示に設定されている、あるいは高度な機能のアクセス権の設定で 「 CSV 書き出し 」 のアクセス権がない場合は、実行することはできません。
3. CSV ファイルに書き出すフィールドを選択する
「 書き出す/書き出さないフィールド 」 欄のフィールド名を反転させ、
← 書き出す **書き出さない→** を押して移動させます。
フィールド名も書き出す場合は、「 先頭行をフィールド名として書き出す 」 に する
初期値は、レコード一覧で表示されていたフィールドが、書き出すフィールドに表示されています。
4. **次へ >>** を押す
「 CSV ファイルへの書き出し - Step2/2 」 画面が表示されます。
5. 書き出される CSV ファイルの中身を確認して **書き出す** を押す
訂正したい場合は、 **<< 前へ** を押して前の操作に戻って修正します。



削除したい

デジエ 利用ユーザーは、以下を削除することができます。

▶ **フォルダ**

フォルダを削除する場合は、フォルダ内を空の状態にする必要があります。

▶ **レコード**

追加したレコードの削除は、1件ずつ行う方法と、全レコード または 検索、絞り込み結果のレコードを一括削除する方法があります。

ライブラリへのアクセス権の設定で削除権限が与えられていないユーザーは実行することができません。

レコードの一括削除については、カスタマイズのメニューの設定で「一括削除」が非表示になっている、あるいは高度な機能のアクセス権の設定で「一括削除」にアクセス権がない場合は、実行することができません。






ライブラリの削除はライブラリ管理者のみが行えます。



レコードの削除

！ レコードの削除は、ライブラリへのアクセス権の設定で削除権限があるユーザーのみ行えます。







！ 削除したレコードのレコード番号、自動採番フィールドで採番された番号は欠落となります。レコード番号、採番番号が繰り上がることはありません。

全レコード、検索・絞り込みを行ったレコードを 一括削除 することも可能です。


1. ホーム画面  に、レコードを削除したいライブラリ ( [[ライブラリ名](#)]) を表示する
ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、フォルダを表示させ、画面上にある  を押すと便利です。
2. ライブラリ ( [[ライブラリ名](#)]) をクリックする
レコード一覧画面が表示されます。
3. 削除したいレコードの[[閲覧](#)]  をクリックする
レコード閲覧画面が表示されます。

4.  [[削除する](#)] をクリックする
確認画面が表示されます。
5.  を押す
レコードが削除され、レコード一覧画面に戻ります。

レコードの一括削除





1. ホーム画面  に、レコードを一括削除したいライブラリ ( [[ライブラリ名](#)]) を表示する
ライブラリが深い階層のフォルダ内にある場合は、フォルダを表示させ、画面上にある  を押すと便利です。
2. ライブラリ ( [[ライブラリ名](#)]) をクリックする
レコード一覧画面が表示されます。
 - ▶ **全レコードを対象に一括削除する場合**
 1. ツールメニューの  [[レコード一括削除](#)] をクリックする
「レコードの一括削除」画面が表示されます。
カスタマイズのメニューの設定で、「レコード一括削除」が非表示になっている、あるいは高度な機能のアクセス権の設定で「レコード一括削除」にアクセス権がない場合は、実行することができません。
 2.  を押す
レコードが一括削除され、レコード一覧に戻ります。

▶ **絞り込み・検索結果を対象に一括削除する場合**

1. レコードの検索、および絞り込みを行います。
カスタマイズのメニューの設定により、検索、絞り込みが非表示になっている場合は、実行できません。
2. 検索、絞り込みが行われたレコード一覧画面のツールメニューの  [[レコード一括削除](#)] をクリックする
「レコードの一括削除」画面が表示されます。
カスタマイズのメニューの設定で、「レコード一括削除」が非表示になっている、あるいは高度な機能のアクセス権の設定で「レコード一括削除」にアクセス権がない場合は、実行することができません。
3. を押す
検索・絞り込んだレコードが一括削除され、レコード一覧に戻ります。

フォルダの削除

! フォルダを削除するには、フォルダ内のライブラリを削除する必要があります。

1. 削除したいフォルダ ( [[フォルダ名](#)]) を表示し、クリックする
選択したフォルダ名が上部に表示されます。
深い階層にあるフォルダを選択する場合は、フォルダを表示させ、画面上にある を押すと便利です。
2. 上部のフォルダ名の下  [[削除](#)] をクリックする
「フォルダの削除」画面が表示されます。
フォルダ内にライブラリがある場合は、 [[削除](#)] は表示されません。
3. を押す
選択したフォルダが削除され、ホーム画面  に戻ります。



個人の設定をしたい

ユーザー登録されたユーザーが **デジエ** にログインして利用すると、ユーザーごとの設定をすることができます。



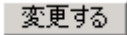
デジエ にログインすると、画面右下に  [[個人設定](#)] が表示されます。これをクリックして表示される「個人設定メニュー」画面では、以下の内容を確認できます。

- ▶ **ユーザーID**
デジエ に登録されているユーザーに自動的に付けられる ID (変更することはできません)
- ▶ **名前**
ユーザーの名前
- ▶ **ログイン名**
ログイン方法の設定で「ログイン名を入力する」に指定した場合の「ログイン名」欄に入力する名前
- ▶ **E-mail アドレス**
登録されている E-mail アドレス
- ▶ **グループ**
所属しているグループ
上記情報は、システム管理者が「ユーザーの設定」画面で変更することができます。



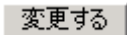
多くの人と共有するライブラリに対して、以下について自分だけの設定をすることもできます。

- ▶ **パスワード**
ログイン時のパスワードを設定します。
! システム管理者によって「ユーザー自身のパスワード変更」が許可されていない場合は、表示されません。
- ▶ **表示**
レコード一覧画面で表示されるレコード数をユーザー個人ごとに設定できます。
- ▶ **My リンク**
よく利用するライブラリや Web サイトを、リンクリストに登録できます。ログイン時に、ホーム画面、レコード一覧画面にて参照可能です。



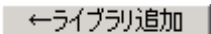
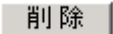



パスワードの変更

1. ログインした状態で、画面右下の  [[個人設定](#)] を押す
「個人設定メニュー」画面が表示されます。
 [[個人設定](#)] は、ログインユーザーの全画面で表示されます。
2. [[パスワードの変更](#)] をクリックする
「パスワードの変更」画面が表示されます。
! システム管理者によって「ユーザー自身のパスワード変更」が許可されていない場合は、表示されません。ユーザー個人がパスワードを変更することはできません。
3. 新しいパスワードと、確認欄に設定するパスワードを入力する
半角英数 64 文字まで設定可能です。
4.  を押す
「個人設定メニュー」画面に戻ります。
システム管理者も各ユーザーのログインパスワードを設定することができます。

表示の設定

1. ログインした状態で、画面右下の  [[個人設定](#)] を押す
「個人設定メニュー」画面が表示されます。
 [[個人設定](#)] は、ログインユーザーの全画面で表示されます。
2. [[表示の設定](#)] をクリックする
「表示の設定」画面が表示されます。
3. プルダウンメニューから、一度に表示する件数を選ぶ
5~100 件まで選択できます。初期値は 20 件に設定されています。
4.  を押す
「個人設定メニュー」画面に戻ります。

My リンクの設定

1. ログインした状態で、画面右下の  [[個人設定](#)] を押す
「個人設定メニュー」画面が表示されます。
 [[個人設定](#)] は、ログインユーザーの全画面で表示されます。
2. [[My リンクの設定](#)] をクリックする
「My リンクの設定」画面が表示されます。
 - ▶ リンクリストの「My リンク」の [[設定](#)] をクリックしても、表示されます。
3. My リンクに追加したい項目を指定する
 - ▶ **デジエ 上のライブラリを登録**
「ライブラリー一覧」より選択し、 を押す
 - ▶ **Web サイトの URL を登録**
「URL」に Web サイトの URL を登録し、リンクリスト上でのリンク名も設定する（必須）。
 - ▶ My リンクを削除する場合は、「My リンクリスト」で削除したいリンク名を選択して反転表示させ、 を押します。
 - ▶ My リンクの表示順を変更する場合は、「My リンクリスト」で表示順を変更したいリンク名を選択して反転表示させ、画面左の  を押すと一番上、一番下に一度で移動できます。
 - ▶ リンクリストでは、「」がライブラリへのリンク、「」が Web サイトの URL へのリンクを示します。



ログイン・ログアウトしたい



デヂエ にユーザー登録されている場合は、ログインしてから利用されることをお勧めします。

ログインすると、以下の利点があります。


- ▶ 個人設定ができる。(My リンクの設定や表示レコード数の変更などが可能です)
- ▶ アクセス権を設定して、ユーザーの利用に合わせたライブラリの管理が行えます。

サイボウズ共通認証の設定を行っており、「サイボウズ Office 6 」または、「サイボウズ ガルーン」にログインしたユーザーは、「サイボウズ デヂエ」でのログインを省略できるようになります。

ログイン

1. ホーム画面の右上の  を押す
「ログイン」画面が表示されます。
2. 「ログイン」画面にて、名前のプルダウンメニューからユーザー名をクリックする
3. パスワードが設定されている場合は、入力する
4.  を押す
ホーム画面に戻ります。
[[個人設定](#)] および自分に権限が与えられている設定のアイコンやリンクが表示されます。

ログアウト

1. ホーム画面の右上の  を押す
ログアウトされます。



ONE
POINT

▶サイボウズ共通認証を利用している場合のログアウト方法

「Office 6」 または 「ガルーン」 と共通認証の設定を行っている場合、共通認証を行っている製品からログアウトしていない状態では 「デヂエ」 から ログアウトすることができません。

サイボウズ共通認証を利用中に 「デヂエ」 からログアウトする場合は、以下のどちらかの手順でログアウトしてください。

- 1.) 起動しているブラウザを全て閉じる
全てのブラウザを閉じることで、「Office 6」 又は 「ガルーン」 及び 「デヂエ」 からログアウトが可能です。
- 2.) 以下の順序でログアウトする
 1. 「Office 6」 又は 「ガルーン」 からログアウトする
 2. 「デヂエ」 からログアウトする

▶シングルサインオン元とデヂエ側のユーザー設定で、「ログイン名」 が一致しているユーザーは、「サイボウズ共通認証」 が利用可能となります。

！ 各ユーザーのログイン名が共通認証を利用する製品間で共通でない場合、共通認証ができない、または異なるユーザーに対して認証が行われてしまう、等の問題が起こることがあります。



本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは禁止されています。
記載された商品名、各製品名は各社の登録商標または商標です。

2004 年 10月 15日 初版発行

発行

サイボウズ株式会社

ナレッジ事業推進部

東京都文京区後楽1- 4- 14 後楽森ビル12F

dezie@cybozu.co.jp

デヂエ最新情報メール 登録受付中！

<http://d.cybozu.co.jp/>